

FVAM-2000

システム統合のための REST API による高度なトランシーバー検査ソリューション

FVAM-2000 は、製造工程でのトランシーバーの検査用に設計された類を見ない初のベンチトップ型マイクロスコープです。VIAMI の次世代ソフトウェア解析ツールを統合し、サードパーティの製造システムとシームレスに統合できるように REST ソフトウェアドライバーをサポートしています。FVAM-2000 は、ライブビデオと合否結果を提供するばかりでなく、画像とデータを自動保存することもできます。

各アダプターにはユニークな AutoID チップが埋め込まれており、接続するとマイクロスコープによって即座に認識されます。マイクロスコープはこの情報を使って、検査対象のコネクターのタイプに合わせて自動的に設定を行います。

- どのコネクタタイプでも簡単に切り替え可能
- 光学設定パラメータを自動設定
- 接続されたチップの前の分析プロファイルを自動的に呼び出します

FVAM-2000 に搭載された PanOptic イメージングエンジンは、高倍率で高解像度の完全な縁なしの視野を提供します。最高の画質、解析精度、スピードを保証し、アライメントピンやガイドホールを含む多芯ファイバーの詳細な端面検査を 8 秒以内に行うことができます。



主な利点

- 高速で信頼性の高い自動ファイバー端面検査
- ベンチトップ型の性能を備えたコンパクトなバルクヘッド検査ソリューション
- シングル、デュプレックス、多芯ファイバーに対応
- 複雑な光インターフェイスをトランシーバーの大量生産に対応させる柔軟性
- プルタブやその他の障害物を除去するように設計された、ユニークな角度と回転可能なアダプター
- アダプターの auto-ID により、マイクロスコープの構成や設定の更新が不要
- お客様のワークフローに統合するためのオープン API を備えた強力な新しい FiberChekULTRA ソフトウェア

検査アプリケーション

- OSFP および QSFP
- ブレイクアウトカセット
- デュアル MPO 12 および MPO 16
- 超小型フォームファクターのコネクタ

